

学校沿革

- 明治 6年 三到学舎と明衛学舎とを設置する。
8年 三到学舎と明衛学舎とを合併し、元街学校となる。
- 大正 3年 校歌が作られる。
- 昭和 4年 現在の山手町36番地に新校舎落成する。(5月4日：創立記念日)
8年 校名を元街尋常小学校と改称する。
16年 校名を横浜市元街国民学校と改称する。
22年 校名を横浜市立元街小学校と改称する。
23年 教育奨励会をPTAとして再組織する。
24年 社会科の研究発表会を行う。
26年 国語・社会・算数・理科・音楽・図工・家庭・体育の研究発表会を開催する。
38年 市教委指定の社会科研究発表会を開催する。
40年 市教委よりTT(ティームテーチング)の実験校として依頼を受ける。
44年 協力教授組織研究発表会を開催する。
51年 協力教授組織研究発表会を開催する。
52年 全小理神奈川大会授業校として発表会を開催する。
56年 中国系児童を対象とした日本語学級を開設する。
59年 現校舎が落成する。
- 昭和59年～平成元年
文部省帰国子女教育研究協力校として依頼を受ける。
- 平成 元年 元街小学校スクールソング「はばたけ元街」が完成する。
市教委指定 生活科・社会科の研究発表会を開催する。
2年 優良PTA文部大臣賞を受賞する。
4年 中華人民共和国教育委員会の視察を受ける。
5年 創立120周年記念行事を行う。
文部政務次官の視察を受ける。
7年 全小社神奈川大会授業校として発表会を開催する。
9年 全小生神奈川大会授業校として発表会を開催する。
11年 ルーマニア観光大臣一行の視察を受ける
12年 北京市少年戯曲学校一行来校 京劇鑑賞会の招待を受ける。
13年 国際協力事業団の青年招聘事業による中華人民共和国小学校教員グループの視察研修を受ける
15年 校庭の改修工事が完成する。
創立130周年記念行事を行う。
18年 青い目の人形「ベッキー」を贈ってくださったギュリック3世夫妻が来校する。
市教委指定 総合的な学習の時間(元街タイム)の研究発表会を開催する。
総合的な学習のうち、キャリア教育の優良学校として文部科学大臣より表彰される。
19年 代官坂トンネルギャラリーが完成し、落成式を行う。
20年 読み聞かせボランティア、校外学習ボランティア等、保護者との協働による学習活動を始める
21年 下庭及び下庭「砂場」「学年園」等の整備を行う。教科担任制の導入・実施。
22年 教科担任制の推進。小中一貫教育の推進。
23年 校庭の芝生化。校内作品展の実施。
24年 学校運営協議会発足。校内音楽会の実施。
25年 創立140周年記念行事を行う。

平成26年～27年

東部学校教育事務所運営サポート事業の一環として、夏季休業中の外国籍・外国につながる児童への学習支援・日本語支援教室を本校会場にて開催する。

27年 オリンピック・パラリンピック東京大会開催を契機としたスポーツ振興事業の一環として、元オリンピック選手による陸上教室を開催する。

27年～28年 公益財団法人日産財団の理科教育助成を受け、授業公開を実施。

28年 ロング昼休みの実施。